

2017年11月

松山理事長が UNWTO、WTM の共催による WTM ミニスターズサミットに登壇

World Travel Market (以下、WTM)とは毎年11月にイギリスで開催されている B to B の国際旅行見本市。今年は、11月6日(月)から8日(水)まで開催され、7日(火)には UNWTO、WTM の共催による WTM ミニスターズサミットが開催された。本年度のテーマは「“Overtourism”: growth is not the enemy, it is how we manage it」で、各国の観光大臣や業界関係者が参加し、JNTO 松山理事長もメインパネリストとして登壇した。

UNWTO のタレブ・リファイ事務総長は、観光客が殺到してコミュニティに悪影響を与えている現実に対して、今まさにこの問題に取り組むべきで、具体的には観光客のアクティビティやシーズンリティの多様化を進めるべきだと提言した。

登壇者は観光がもたらす悪影響に対する対策として、コミュニティの参加、観光資源の多様化、民間部門への積極的な投資、観光の負のイメージを払拭する広報活動などの重要性などを議論した。

- 松山理事長からは
- 1：持続可能性を計測するモニタリング・データに基づく中長期的な観光戦略
 - 2：官民連携によるビッグデータを活用した持続可能な観光を可能にするマーケティング、
 - 3：観光の力・意義を伝える地域住民に対する継続的な啓蒙活動の必要性が提言された。

